

平成 16 年 9 月 29 日

各 位

本店所在地 東京都港区西新橋一丁目 10 番 2 号
投資法人名 ベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人
代 表 者 執行役員 木暮 康明
コード番号 8 7 2 1 (大証ベンチャーファンド市場)
問 合 せ 先 執行役員 木暮 康明
電 話 番 号 03 - 3591 - 1604

投資済の投資事業組合増資に伴う持分比率変更のお知らせ

既に平成 16 年 3 月 9 日に投資済のトランスサイエンス式ビー号投資事業有限責任組合に対する下記 2 社の追加出資を本投資法人が承認した結果、本投資法人の持分比率が変更となりましたのでお知らせ申し上げます。

記

1. 投資済資産 トランスサイエンス式ビー号投資事業有限責任組合
2. 出資額合計 15 億 1,000 万円 (うち本投資法人の出資済額 10 億 2,000 万円)
3. 追加出資内訳 株式会社トランスサイエンス 1,500 万円 (合計出資額 2,000 万円)
独立行政法人中小企業基盤整備機構 4 億 7,000 万円
4. 持分比率 本証券投資法人 約 67.5% (追加出資前 約 99.5%)
5. 今回の追加出資の概要

今回、独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下「中小機構」と言う。)のトランスサイエンス式ビー号投資事業有限責任組合(以下、「本投資事業組合」と言う。)への出資は、『ベンチャーファンド出資事業』(中小機構の投資会社等が組成する設立 7 年未満のアーリーステージにあるベンチャー企業への投資・ハンズオン支援を目的としたファンドに対し出資を行い、ベンチャー企業の間接的な支援を行う)に基づくものです。

本投資法人は、今回の出資によって本投資事業組合の資産額が約 47% 増加し、より多くの企業へ投資が可能になること及び中小機構のベンチャー出資事業に認定されることにより、本投資事業組合の認知度・信頼性が一段と向上し投資案件の増加が期待されること等を勘案し、本投資事業組合へトランスサイエンス及び中小機構が追加出資することを承認いたしました。

本投資事業組合は、3 月に設定後約半年の間に有力な次世代生命科学(ライフサイエンス)技術を持つ 10 社への投資を実現しており、今後の投資成果が期待できるものと考えております。

【ご参考】

株式会社トランスサイエンスの概要

設立日： 平成 13 年 12 月 18 日

本店： 東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 1 号

資本金： 1 億 1,867 万円

代表者： 井上 潔 代表取締役社長

(富士通株式会社にてコーポレートベンチャー制度の企画運営に携わり、12社のベンチャー企業を立上げる。同社退社後は、数社のバイオベンチャー企業の取締役としてマネジメント全般を担当する。)

研究顧問： 大手製薬企業、東京大学、京都大学、大阪大学、慶應大学 等
次世代生命科学技術の中心的な研究者の方々

事業概要： バイオビジネスに係る投資育成及びコンサルティング

独立行政法人中小企業基盤整備機構の概要

設立日： 平成 16 年 7 月 1 日

本店： 東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル

根拠法： 独立行政法人中小企業基盤整備機構法（平成 14 年 12 月 法律第 147 号）

主務大臣： 経済産業大臣（一部の業務については財務省と共管）

事業概要： 中小企業総合事業団・地域振興整備公団・産業基盤整備基金の 3 法人の事業を整理統合して発足。

中小企業者その他の事業者の事業活動に必要な助言、研修、資金の貸付け、出資、助成及び債務の保証、地域における施設の整備、共済制度の運営等の事業を行い、もって中小企業者その他の事業者の事業活動の活性化のための基盤の整備を行う。

以 上